

# 夢を形に 第1回 田中美貴子 府政報告会

ご参加いただいた皆様の声の一部を紹介しております。どうぞ裏面もご覧ください。



## 徳永幸大

### プロフィール

第58代ボクシング日本ライト級チャンピオン(京都では25年ぶり)  
京都にあるジムに所属、横島町出身で北横島小学校、横島中学校の卒業生



**内容** 野球少年で甲子園を目指していた私がボクシングを志したきっかけは、高校3年生の時に見た内藤大助選手VS亀田大毅選手の試合でした。高校からボクシングを始めた自分は、まず目の前の目標を一つ一つクリアしていくという積重ねの結果、チャンピオンになる事ができました。何か新しいことを始めたいと思う方がいらっしゃれば、どんどんチャレンジしてもらいたいと思います。

- Q なぜ苦しい減量を乗り越えられるのでしょうか？
- A 応援してくれる人達に一生懸命頑張っている姿をみてもらいたいからです。

## 金池恵理

### プロフィール

フェイシャルサロンメリアオーナー  
宇治田原町生まれ、久御山高校を卒業  
エステティックとメイクアップのディプロマ取得



**内容** 結婚妊娠を機に、子供がいながらも「自信を持って働くことのできる仕事をしていきたい!」との思いから相手に喜んでもらうことができ、自分自身も磨くことができる美容の仕事を始めました。産後半年で、勉強を始め、早く仕事を軌道に乗せるために、夜も走り回り、長男が泣いて私に抱っこを求めるのを引き離れたこともありました。お客様が綺麗になっていただけるように。お一人お一人のことを考える時間が、私のよろこびです。そして、子供達には、これからも、私が苦労しながらも楽しく夢を持って働く姿を見せていきたいと思っています。

- Q 子供がそばにいての働き方についてどう思いますか？
- A 多くの女性が子供を連れて参加することや、子供を預ける事に関して罪悪感を感じている方もおられると思います。子どもが側にいる事で親と子がお互いに安心できるし、社会勉強にも繋がると思います。

## 今村正喜

### プロフィール

13代目花農家・京都やましろ農協青壮年部所属・  
平成23年京都府青年農業士  
京都農業大学校卒業・宇治市消防団所属



**内容** 色々な大学や会社などの研究機関に再び花の研究や実験をしていただき、京都府の花き生産の技術力が向上をはかり、花を作る若手を育成する環境を整えて欲しいと願っています。今ある市場と農協に出荷する方法の他にも販路を拡大して、より安定した経営をできるようにしたいと考えています。そのためにも、新鮮な野菜や花を欲しい人と新鮮な野菜や花を扱う農家をつなげるマッチングイベントが必要であると考えています。初代丹波屋平から受け継がれてきた茶道のための花作りを本格的に復活したいと考えています。消防団では3年目に小倉分団で取り組んだ小型ポンプ操法大会がきっかけとなり、大人になって熱くなれるものとの出会いでした。僕らと一緒に自分たちの町は自分たちで守りましょう。

- Q 府では「お茶の京都」を推進されていますが、何かありますか？
- A 当事者である宇治の人で盛り上げて世界中に発信していきたいと考えています。
- Q 『花育』ということについてどう思われますか？
- A 華道や花を育てることで心の豊かさを育てる教育こそが『花育』です。『食育』を基本として、『茶育』と『花育』をセットで推進しては如何でしょうか。

## 橋本弥江子

### プロフィール

亀岡市生まれ・京都大学法学部卒業・司法試験合格(H15)・  
栃木県弁護士登録(H17)・お茶州立大学 司法専攻LL.M卒業  
京都府弁護士会登録(H27)・トキワ法律事務所入所(H27)



**内容** 女性が男性並に稼げる仕事、専門職で一生続けられる仕事に就きたかったので、一人で食べていける「武器」としての仕事・弁護士を目指しました。目標通り弁護士になりましたが、弁護士が増え、法曹界は弁護士で食べていける時代が終わってしまいました。結婚後渡米し、新たに武器を手に入れるためにアメリカのロースクールを卒業することを目指し、英会話、アメリカの刑事司法制度、調停制度を学びました。日本に帰って、日本の法制度を多角的に分析し、語学力と留学の経験を生かして、京都の企業の海外進出のお手伝いしたいと目下、勉強中です。

- Q パートナーが妻の仕事に合わせて自分の職を辞し、京都と一緒に来る事をどうやって乗り越えたのか？
- A アメリカ留学中に会ったご夫婦が、妻の仕事に合わせてご主人が職を変われたという選択が特別な選択ではなかったとお聴きして、自分もそのような選択もあるかもしれないというヒントをいただきました。

## 西村聡美

### プロフィール

カフェ・クラリネオーナー・双子の母・  
ママさんプラスUji・クラリネット「黒笛」所属  
クラリネット奏者



**内容** クラリネットのやさしい音色のように、癒される空間をつくりたいとの思いから、子どもの通学路の途中にあり、子どもを見守りながら仕事ができる店・カフェクラリネを御蔵山商店街にH27年オープン。子どものいるお客様にも気軽に外食して、息抜きができる場所でありたいので、ベビーチェア、おむつ替えシート、お子様メニューも用意しています。結婚、出産、育児に追われて、やりたかったことをあきらめないで、子育てと両立できるかたちでの働き方、私なりのスタイルを模索中です。経営的には厳しい現実もあるが、地域の皆さんの憩いの場となり、いろんな人と人が繋がれるコミュニティカフェのような存在になれたらいいと思います。

- Q リスクを背負ってのスタートに対して、一步を踏み出せたのは何がきっかけでしたか？
- A 以前に勤めていたお店で経験を積めたこと、コミュニティカフェのあり方を学べた事が大きな力となりました。

## 榎本 魁

### プロフィール

京都文教大学中退・大開サンクラブJr出身・  
夢の選択肢模索中



**内容** 若い年代としてより多くの事を皆さんに伝えたいと思います。母子家庭に育ち、大学の学費を奨学金で借りているが、自分の家の経済状況を見ると、苦しいという事に気づき母の笑顔を大切にしたいという思いから、大学を存続することに疑問を抱き、中退を決意し、他の道を模索し始めている状況である。

- Q 18歳選挙権が付与されますが、政治に関心を持ってもらうにはどのようにすれば良いですか？
- A 政治が動けば、何かが変わったと実感出来る。もしくは、関わった事で、結果が出れば、関心が高まると考えます。

※内容は紙面の都合上抜粋で掲載させていただいております。



矢野 前宇治市会議員の司会でスタート



育児スペースの様子



山井衆議院議員



福山参議院議員



手話を披露



手話通訳者



府政報告会を終えて記念撮影